

# 「家庭学習MGC」実践例

鹿児島市  
教育委員会

宮小学校 4年

## ○ 家庭学習の基本的な考え方

「自律・自走する子供」の育成に向け、家庭学習においても、子供の自己選択・自己決定の機会を位置付ける。

【基本的な流れ】 **AARサイクル (Anticipation Action Reflection) に基づく家庭学習**

A：前日の家庭学習や1日の学習を振り返り、家庭学習の目標と計画を立てる（内容と方法の自己選択・自己決定）。

A：計画した内容と方法に沿って家庭学習に取り組む。

R：今日の家庭学習を振り返り、明日の家庭学習を見通す。

宮小学校 今週の家庭学習「マイゴールチャレンジ」

( ) 年 名 ( )

前日の家庭学習や今日の学習を振り返りながら、家庭学習の目標を立てよう。そして、「何に」「どのように」取り組むかについて、計画を立てよう。

【家庭学習の進め方】

- ① 今日の学習を振り返り、目標を立てる。(何のために、なぜ)
- ② 家庭学習の計画を立てる。(何に、どのように)
- (自分で決めて取り組む内容の例)
  - 授業で学習したことを復習する(大切なことやまとめを読む、練習問題を解く、苦手な問題に取り組む)。
  - 習っているところを音読する。
  - 次の授業の予習をする。(教科書を読む、言葉の意味を調べてみる。) など
- ③ 計画にそって取り組む。
- ④ 今日の家庭学習が終わったら、振り返りをして、明日の家庭学習でがんばりたいこと(目標)を考える。

【今日の目標と今週の家庭学習で取り組みたいこと】

| 目標 | 今週の見通し(A) |
|----|-----------|
| 内容 |           |

【今日の振り返りと来週の家庭学習でがんばりたいこと(目標)】

| 振り返り  | 今週の振り返り(R) |
|-------|------------|
| 来週の目標 |            |

【今週の記録等(例)】

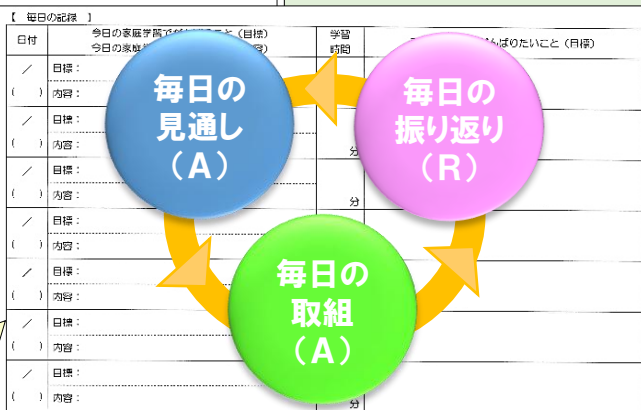
- 家庭学習の進め方
- 今週の目標と計画を記入
- 今週の振り返りと来週の目標を記入

**※例を基本に学年段階や実態に応じてアレンジする。**

【毎日の記録】

- 今日の目標と計画を記入
- 今日の振り返りと明日の目標を記入

**※例を基本に学年段階や実態に応じてアレンジする。**



## ○ MGCの取組

【小学4年生 算数科「垂直・平行と四角形」のMGC】

四角形の分類方法に関する理解を深めるため、取組方法のモデルに沿って、内容と方法を自己選択・自己決定しながら進めた家庭学習

### ★ポイント

○取組方法のモデルとして「①目標・計画 → ②テスト → ③分析 → ④練習・振り返り」の流れを提示している点（子供自身のアレンジ可）

○定着を確認してから練習内容と方法を考えることで、自己選択・自己決定の根拠を明確にしている点

### ①【目標・計画】

- 一日の学びの振り返り
- 目標と内容・方法の決定



四角形のきまりを分かるようになるぞ。

### ④【練習・振り返り】

- 計画に沿った練習
  - 振り返り(カードへ)
- きまりを使って、四角形の仲間分けの問題を選んで練習しててできるようになったぞ。



### ②【テスト】

- 内容に関する定着の確認
- 四角形についての復習プリントにチャレンジして確認できたぞ。



### ③【分析】

- テスト結果の分析
  - 練習内容と方法の決定
- 四角形を仲間分けする問題ができていないなあ。



※参考になる児童の宅習ノートを学級掲示や週報掲載を通して家庭との連携を図っている。

伊集院小学校 6年

★段階的に教師の指導や親の支援から離れ、自ら考え判断し家庭学習に取り組むよう宅習ノートの振り返りに取り組ませる。



# 「家庭学習MGC」実践例

いちき串木野市  
教育委員会

荒川小学校 5・6年

## ○ 家庭学習の基本的な考え方

### ★「自分で決める」ことの楽しさと大切さ

- 「マイゴール」は先生や親が決めるものではなく、自分で考えて決める目標。授業の後の「振り返り」とつなげて考えてみよう。
- 小さな目標でもOK！例えば「漢字を3つ覚える」「本を10分読む」など、自分に合ったチャレンジを選ぼう。

### ★「できた！」の達成感を味わう

- 自分で立てた目標を達成すると、自信が付くし、次もがんばろうという気持ちになる。
- 失敗しても大丈夫。次にどうすればいいか考えることもチャレンジの一部。

### ★「ふりかえり」で自分の成長を感じる

- チャレンジのあとに「どうだったか」「次はどうするか」を考える時間をもとう。
- 自分の成長に気付くことで、もっと学ぶことが楽しくなる。

## 【保護者の皆様へ】

- ★ 家庭学習の意義 …学校だけでなく家庭でも学びを継続することで、学力だけでなく自律性や計画性が育まれます。
- ★ 子どもの目標設定を応援 …子どもが自分で立てた「マイゴール」に対して、家庭でも声かけや環境づくりを支援してください。
- ★ 学習時間の確保 …生活リズムの中で、家庭学習の時間を意識的に確保するよう協力してください。
- ★ 振り返りの共有 …子どもが学習後に振り返った内容を家庭でも共有し、達成感や課題を一緒に確認してください。
- ★ 学校との連携 …家庭と学校が連携して子どもの学習を支えることで、より効果的な成果が期待できます。

## ○ MGCの取組

### 【小学5・6年生のMGC】

児童が自分自身で気付き・考え・行動できるように取り組んだ家庭学習

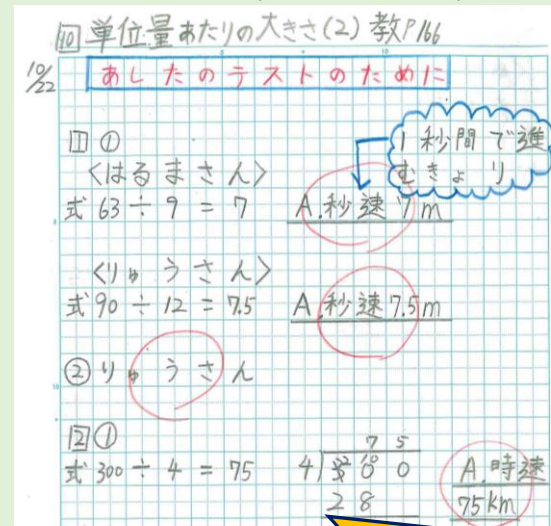
## ○ 具体的な取組

- その日の授業から自分自身の課題を発見する。
- 発見した課題に基づいたマイゴールやその日の学習メニューを家庭学習計画表に記入する。
- 家庭学習後にその日の家庭学習について、振り返りを記入する。
- 翌日の登校後に計画表を担任に提出して、コメントを記入してもらう。

## ○ 家庭学習計画表

| 日付   | 家庭学習メニュー  | 予想(分)                      | 実際(分)                      | 家<br>サイン | 担<br>サイン |
|------|---|----------------------------|----------------------------|----------|----------|
| 10/1 | マイゴール 英語がわかるようになる。<br>日記2ページ<br>英語の練習<br>音読(スラスラ) | 40<br>20<br>20<br>10       | 40<br>20<br>20<br>10       |          |          |
|      | 振り返り 英語が少しわかるようになったかな！                            |                            |                            |          |          |
| 10/2 | マイゴール 漢字をきれいに書けるようになる。<br>漢字<br>音読<br>スマイルネクストドリル | 20<br>20<br>20<br>30       | 20<br>20<br>20<br>30       |          |          |
|      | 振り返り 漢字をきれいに書いた！                                  |                            |                            |          |          |
| 10/3 | マイゴール 日記をきれいに書く。<br>日記2ページ<br>漢字<br>音読<br>計算ドリル   | 40<br>20<br>20<br>20<br>40 | 40<br>20<br>20<br>20<br>40 |          |          |
|      | 振り返り 日記を次はまちがちな字が                                 |                            |                            |          |          |
| 10/6 | マイゴール 英語が書けるようになる。<br>漢字<br>振り返り社会<br>音読          | 20<br>5<br>10<br>10        | 20<br>5<br>10<br>10        |          |          |

## ○ 取組の実際（児童のノート）



翌日のテストのために、自分で学習内容を決めて補充問題に取り組んだノート

担任から指定された課題(日記2ページや音読)に加え、自分自身で考えた課題(計算ドリルや英語)をその日の家庭学習の計画表に記入する。家庭学習が終わったら保護者にチェックをしてもらい、確認サインを押してもらう。翌日、担任が確認・コメントをつけて児童へ返却する。見届け・評価をもらうことで、児童自身が次の家庭学習に向けて意欲的に取り組むことができる。

計算ドリル  
ふり振り返り日記を次はまちがちな字が  
継続する中で、マイゴールに対するふり振り返りに「次は〇〇したい」と書いてあるように、翌日の家庭学習に向けた改善点も記入できるようになった。

# 「家庭学習MGC」実践例

三島村  
教育委員会

三島大里学園 後期課程

## ○ 家庭学習の基本的な考え方

### ★ その日の授業で学習したことの復習をする。

- ・ノートや教科書を見て振り返る。
- ・学習者用デジタルコンテンツなどICTの動画などを活用して、授業の振り返りをする。
- ・練習問題や発展問題に取り組む。
- ・分からなかったところを振り返り、学習する。分からない場合は、次の授業までに教師や友達に質問し、理解しておく。

### ★ 次の授業の予習をする。

- ・教科書やワークを確認する。
- ・予習して疑問に思ったことや気になったことは、ノートに書き残し、次の授業で確認する。

### ★ 自分の苦手な教科を重点的に学習する。

- ・教科書の問いやワークなどを活用する。
- ・学習者用デジタルコンテンツなど補助教材の活用で自分の苦手問題を克服する。

### <保護者の関わり方>

- (できるだけ)一緒に目標を確認する。
- 子どもが学習するときは、そばで見守る(目の届くところで)。
- どこまで取り組んだか、一緒に確認する。
- 頑張ったら、褒めたり、認めたりして、自信をもたせる。

## ○ MGCの取組

### 【小学生・中学生 日々のMGC】

苦手な分野を克服するために、主体的に取り組んだ家庭学習

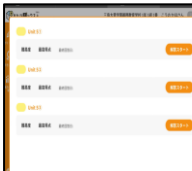
### ★ポイント

#### <家庭学習のルール>

・家庭で学習したものの内容が分かるように写真を撮って、右の日付の空欄に添付する。  
※複数ある場合、つなげて添付する。



・宿題や宿題以外の自分で学習したものも添付する。デジタルドリルの場合は、画面の画像を添付する。



・学習した時間を記入する。

・月の最終日に、その月の学習の振り返りをする。

学習支援アプリの共有ノートを利用することで、児童生徒だけではなく、保護者や教師が確認することができ、認めたり、どのような学習をしているのか確認したりすることができる。

家庭学習の取組について説明し、児童生徒や保護者が確認できるように記載している。

家庭学習MGC 三島大里学園 7年(1)番 名前( )

家庭学習MGCの取組

- ① 学校から指示された課題をやりとげたり、漢字や音読、計算練習を継続的に取り組む。
- ② 授業で分らなかった問題を解いたり、さらに難しい問題に挑戦したりする。
- ③ 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自分ノート」にまとめる。
- ④ 教科書やノートを見ながら、次の授業で学習する内容を学習する。
- ⑤ 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。

| 日付    | 1日  | 2日  | 3日  | 4日  | 5日  | 6日  | 7日  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学習の足跡 |     |     |     |     |     |     |     |
| 学習時間  | 60分 | 60分 | 0分  | 20分 | 15分 | 0分  | 20分 |
| 学習の足跡 |     |     |     |     |     |     |     |
| 学習時間  | 30分 | 10分 | 40分 | 30分 | 20分 | 20分 | 20分 |
| 学習の足跡 |     |     |     |     |     |     |     |
| 学習時間  | 15分 | 10分 | 15分 | 15分 | 15分 | 20分 | 20分 |
| 学習の足跡 |     |     |     |     |     |     |     |
| 学習時間  | 5分  | 25分 | 0分  | 40分 | 0分  | 15分 | 45分 |
| 学習の足跡 |     |     |     |     |     |     |     |
| 学習時間  | 20分 | 30分 | 15分 | 15分 | 0分  | 40分 | 30分 |
| 学習の足跡 |     |     |     |     |     |     |     |
| 学習時間  | 5分  | 0分  |     |     |     |     |     |

月の反省

この月の学習で、自分ではできなかった問題や、難しい問題でも、先生や友達に質問して、理解することができた。また、自分で学習したことで、苦手な分野でも進歩することができた。来月は、さらに頑張りたい。

1 いろいろなノートのgood例

2 今週の時間割 3 今月の月行事

3 チャレンジ問題と補助教材

・ 学習の足跡

・ 補助教材の活用

・ 学習の足跡

・ 補助教材の活用

① 児童生徒の学習した内容で、素晴らしいものがあつた場合、ここに添付しておく。

② 今週の時間割や月行事を添付しておくことで、児童生徒自身で、予習や復習の教科を主体的に考えて取り組むことができる。

③ 補助教材の紹介として、学習者用デジタルコンテンツの活用を促す。



# 「家庭学習MGC」実践例

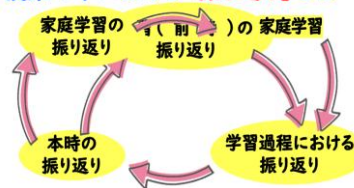
十島村  
教育委員会

悪石島学園 後期課程

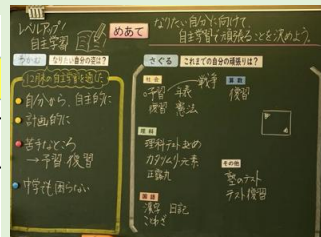
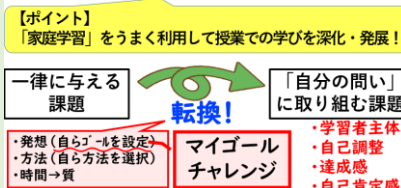
## ○ 家庭学習の基本的な考え方

### ★ 職員研修での共通理解

授業の中における「振り返り」とは・・・



家庭学習の転換を！



### ★ 生徒とともに家庭学習の意義・目的を考え、改善と見直しを行う。

- 復習で知識や技能の定着を図る。
  - ・ワークでの復習 ・リクエストプリント
  - ・テストや教科書の解き直し ・訂正ノートの作成
- 予習を推進する。
  - ・学習計画シートの活用 ・学習内容への関心を高める
  - ・教科書を大まかに目を通すだけでもよい
- 自分の学びを深める。
  - ・調べ学習による発展的な学習
  - ・主体的・能動的に学ぶ力を高めることにもつながる

### ★ 生徒にマイゴールを意識させ、自己選択、自己決定させる。

- 自らの課題や興味に応じた家庭学習の目標や内容、量を決めさせる。
- 授業の最後に、家庭学習を決めさせる。
- 探究的な学びや体験的な活動にも取り組ませることで、家庭学習を進路や生き方につながる深い学びへと発展させる。
- 時間や場所にとらわれない柔軟な学びを支える。

### ★ 家庭学習強調週間（6・10・11・2月）の充実を図る。

- 生徒との対話 ○ 家庭との連携 ○ 家庭学習がんばりカードの活用

## ○ MGCの取組

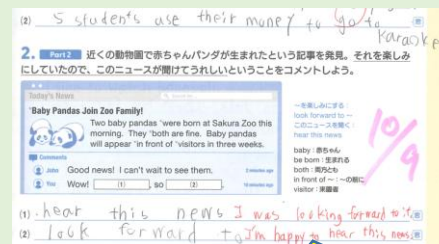
### 【後期課程のMGC】

自己の理想や目標達成のために、自分で決めて取り組む家庭学習

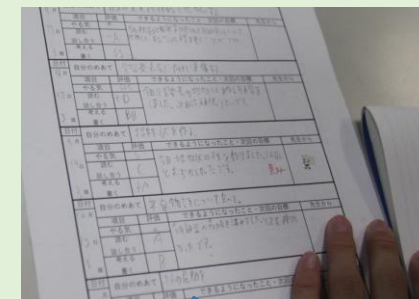
- 授業内容の振り返りと定着
  - ・授業で扱った英文や語彙を「自分ノート」にまとめ、理解を深める。
  - ・授業中に分からなかった文法事項を再確認し、例文を自作して練習する。
- 予習と発展的な学習
  - ・次回の授業で扱う教科書の英文を音読・翻訳し、予習する。
  - ・授業で扱ったテーマに関連する英語記事や動画を視聴し、感想を英語で書く。
- 探究的な学び
  - ・興味のある国や文化について調べ、英語でプレゼン資料を作成する。
  - ・外国語を使ったコミュニケーション活動（例：オンライン英会話、ペンパルとの交流）に挑戦する。
- ICTの活用
  - ・タブレット端末を活用し、英語学習アプリやオンライン辞書を使って語彙力を強化する。
  - ・学習記録を「マイゴールチャレンジカード」に記入し、振り返りを行う。
- 支援とフィードバック
  - ・授業終了時、その日の家庭学習計画を立てる時間を設ける。
  - ・生徒の取組に対して、教員が具体的な称賛や助言をコメントとして添える。
- ワークやプリント、ノートでの学習
  - ・定着のための演習や反復練習を行う。
- 学びを循環させる仕組みの構築
  - ・授業→復習→発展→予習→授業の循環を生徒と教師、家庭が一体となって取り組む。



生徒作成のプレゼン資料



ワークによる復習



振り返りシート

# 「家庭学習MGC」実践例

枕崎市  
教育委員会

枕崎中学校 1年

## ○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 平日は120分以上、休日は180分以上、毎日家庭学習をする。
- ★ 「ながら」勉強はしない（テレビを見ながら ゲームやスマホをしながら 食べながら）。
- ★ スマホやゲームなどの使用は午後9時まで（家庭学習時間の確保）。

### 家庭との連携・小学校との連携

- ・ 家族からの応援メッセージ（生活設計作成時）
- ・ 「ノーメディア週間」の取組（年3回、定期テスト前）

生活設計紙（1年間の目標）

★ 私の理想の1日 ☆

生活設計のイメージ。平日と休日のスケジュールが示されています。学校の授業時間と家庭学習時間が明確に区別されています。

（枕崎小学校）家庭編 高学年

90分 毎日家庭学習をする。

授業で学習したことの復習  
間違えた問題の復習  
テストの修正  
授業の予習（語句・用語調べ、教科書の例題など）  
問題集（時間をおいて3回繰り返し学習する）  
応用学習（漢字、英単語、計算問題など）  
読書（さまざまなジャンルを積極的に読む）  
日記や作文、詩や俳句  
新聞記事についての自分の考え

「ながら」勉強はしない（テレビを見ながら ゲームやメールをしながら 食べながら）  
・ スマホやゲームなどの使用は午後9時まで。

時間決めて集中して取り組む。サインをもらう。  
答え合わせは自分でやる。  
始めと終わりの時刻を記録する。  
書くことを覚える。（書いて覚える、書いて整理する、書いて確かめる）  
同じ教科に偏らず、苦手な教科にもチャレンジする。  
ノートを使い方を工夫する。

時間制や連絡帳を確認し、次の日の学習用具や課題、提出物を準備する。

設定された学習時間に合わせて、自主学習ノートに、自分の取り組むべき課題を決めて、計画的に取り組む。

## ○ MGCの取組

### 【中学1年生 学習習慣定着のMGC】

「独り立ち」のために、主体性向上に取り組んだ家庭学習

#### ★ ポイント

自分で設定した学習時間に合わせて、自主学習ノートに、自分の取り組むべき課題を決めて、計画的に取り組む。

#### ★ 内容

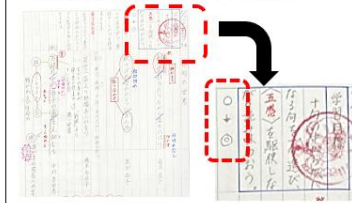
- ・ 授業の予習（語句・用語調べ、教科書の例題など）
- ・ 授業で学習したことの復習や、理解が不十分な課題や問題の復習
- ・ テストでの不正解問題の復習
- ・ 問題集（時間を置いて3回繰り返し）
- ・ 反復学習（漢字、英単語、計算など）
- ・ 読書（さまざまなジャンルを）
- ・ 新聞やニュースについての自分の考え（コラム等を読み、感想を書く）

#### ー「マイゴールチャレンジ」ー

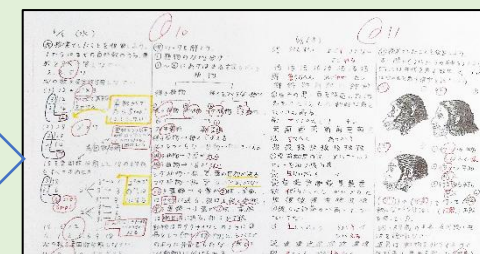
- ☐ 時間を決めて集中して取り組んだ。
- ☐ 答え合わせを自分でできた。
- ☐ 始めと終わりの時刻を記録した。
- ☐ 書く学習ができた（書いて覚える、書いて整理する、書いて確かめる）。
- ☐ 目標をもって、計画的に自分のレベルを向上させた。
- ☐ 同じ教科に偏らず、苦手な教科にもチャレンジした。
- ☐ 授業で分からなかった問題を解いた。
- ☐ さらに難しい問題に挑戦した。

#### 【枕崎中学校における実践】

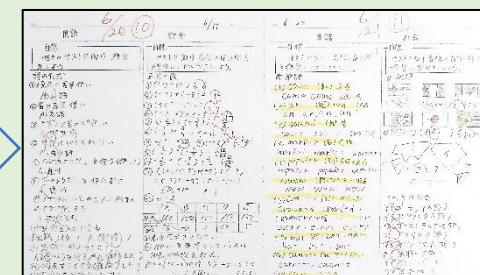
- 「できそうチェック」、「できたかチェック」の実践について
- 「できそうチェック」を行うことで、学習の見通しや個々の課題が明確になった。
  - 個々の課題や想定されるつまづきに対して、教師の支援があり、生徒の学習意欲が高まった。ほとんどの生徒が目標達成することができた。
  - 「○・△・◇」とシンプルに自己評価をすることで、学力差に関係なく評価でき、継続的に学習の振り返りができた。
  - 自己評価をするときに、評価基準が明確でなければ、安易に「○」を選ぶでしょう。
  - 毎時間は難しいが、記号での自己評価だけでなく、文章でまとめた、発表したりする場面も設定できるよう授業のデザインを図る。



理解を深める  
家庭学習



テスト前の  
家庭学習





# 「家庭学習MGC」実践例

指宿市  
教育委員会

川尻小学校 5・6年複式学級

## ○ 家庭学習の基本的な考え方

※ 「家庭学習の手引き」を低・中・高学年で作成し、年度当初に子供たちに指導するとともに、保護者に周知しています。

### ★ 家庭学習を始める前の約束

- 1 学校からのプリント等を家の人に渡しましょう。
- 2 机の上をきちんと片付けて、勉強の準備をしましょう。
- 3 テレビやゲームを消し、部屋や机のあかりをつけましょう。

### ★ 家庭学習のポイント

- 1 毎日始める時刻を決めて、勉強しましょう。
- 2 はじめに音読、宿題を済ませましょう。
- 3 宿題が終わったら、自主学習をしましょう。
- 4 全部終わったら、お家の人に見てもらいましょう。
- 5 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

## 【家庭学習のステップ1・2・3・4】 学習時間のめやす：60分+読書

- 1 宿題をする。  
自分の考えや気持ちを整理し、文章の構成を考えて日記に書きましょう。
- 2 音読をする。  
情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて読みましょう。
- 3 自主学習をする。  
・ 授業の復習や予習をしましょう。  
・ 「自主学習のメニュー」（※「家庭学習の手引き」に記載）を参考に、工夫して学習しましょう。  
・ 自分に合った問題集等にチャレンジしましょう。
- 4 読書をする。  
・ 伝記や物語など、いろいろなジャンルの本を読みましょう。  
・ 一週間に1冊以上は読みましょう。

## ○ MGCの取組

### 【小学6年生 社会科のMGC】

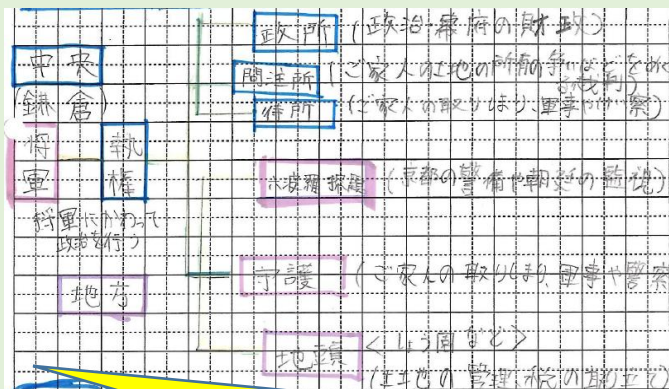
授業で学んだことをより深く理解するために、自主学習に取り組んだ家庭学習

### ★ポイント

教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自学ノート」にまとめる。

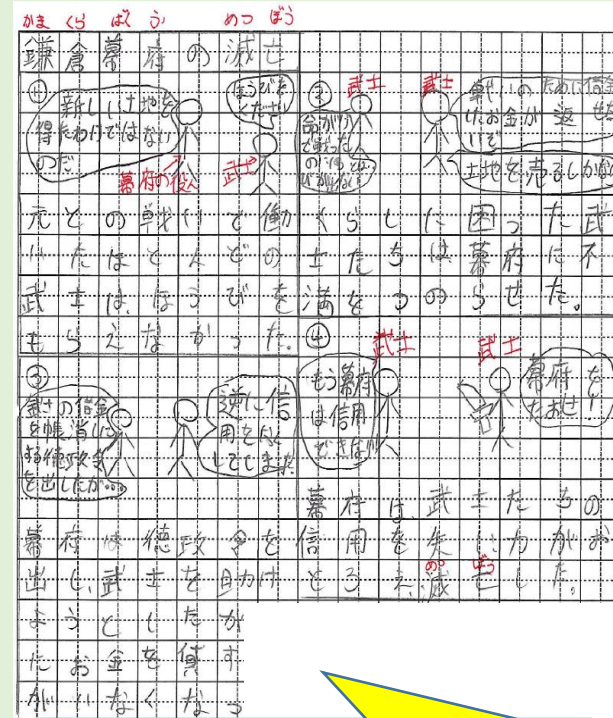
### 自主学習のメニュー：社会

- ☐ できなかった問題にもう一度挑戦する。
- ☐ 教科書を読んで、大切だと思う言葉を書き出し、関係のある資料を読む。
- ☐ 学習したことを百科事典やインターネットなどで詳しく調べ、まとめる。
- ☐ 日本や国土の様子について調べ、まとめる。
- ☐ 都道府県の特徴や世界の国々（国旗、言葉、食べ物など）を調べる。
- ☐ 世界遺産を調べ、まとめる。
- ☐ 歴史上の人物を調べ、歴史新聞を作る。



### Bさんの「自学ノート」

授業では詳しく調べることができなかった教科書51ページの図を見やすく整理することで、鎌倉幕府の仕組みを自分なりに理解しようとしている。



### Aさんの「自学ノート」

鎌倉幕府がどうして滅んでしまったのかを分かりやすく自分なりの絵（四コマ漫画風）で表現し、理解を深めようとしている。

子供が提出した「自学ノート」には、称賛や助言などのコメントを添えて返却しています。

## 「家庭学習MGC」実践例

南さつま市  
教育委員会

川畑小学校 5年

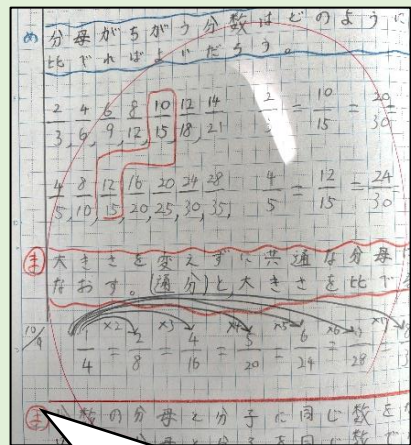


## ○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 「家庭学習の手引き」を基に、学校・家庭が共通した考えで家庭学習を見届けられるようにする。
- ★ 日々の学校での学習の復習や、次の授業の予習などを取り入れた内容に取り組めるようにする。
- ★ めあてと振り返りを行い、自分の学びを確かめられるようにする。
- ★ 保護者からのコメントなどを入力できるなど、保護者が関わられるような内容を取り入れるようにする。

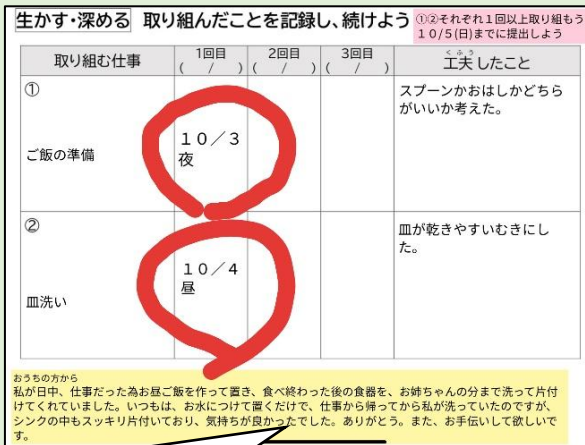
## 【取組の例】

## 【算数科の家庭学習】



学習したことをその日のうちに復習した。めあてやまとめ、振り返りを行い、学んだことを確かめることができた。

## 【家庭科の家庭学習】



授業で学んだことを実践するために家庭でできる仕事に取り組んだ。保護者からのコメント入力欄を設けることでかわりをつくり、児童の意欲の向上にもつながった。

## ○ MGCの取組

## 【小学5年生 算数科のMGC】

学習内容を確実に理解するために、予習に取り組んだ家庭学習

## ★ ポイント

本時の学習内容の確実な理解のために、以下の学習過程の中でMGCの取組を位置付けた取組を行った。

前時

- 1 終末で、次時の学習問題を提示し、次時の学びの見通しをもつ。
- 2 家庭学習で、問題を解き、自分の考えをもつ。

【予習MGC】



本時

- 3 予習した内容をもとにめあてを設定する。自己選択した学び方で、答えを導き出す時間を十分に確保する。



黒板の前に集まって学ぶ、教室の外のワークスペースで学ぶなど、予習を基に自己選択した学び方で学習を進める。



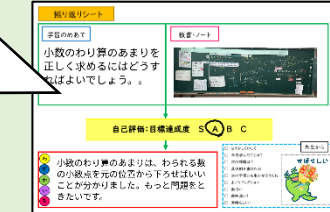
- 5 類似の練習プリントや個別最適化学習アプリ等、自分が取り組みたい内容を選択して学びを進める。

予習した本時の問題を話し合うところから授業をスタートする。児童は家庭で予習を行い、自分の考えをもって授業に臨むことができる。



- 4 学んだことをまとめ、振り返りの時間を設定する。学びを確かなものにし、もっと解きたいという意欲を高めたりする。

分かったことやできたこと、考えたことなど、今日の学びを振り返りシートに入力し、次時の見通しをもったり、家庭学習の復習に活用したりする。



形成的評価問題や発展的な問題、個別最適化学習アプリなど、児童が自分で学習内容を決めて取り組ませる。



## ★ 児童の変容

- 家庭学習による予習を行うことで、主体的に学びを進め、学習内容の理解を深めた。
- 授業の前段を予習に代えることで、児童に個別最適化された学びの時間を確保し、発展的内容へ取り組んだり、個別の指導を充実させたりするなど、児童が学び方を自己選択・自己決定して意欲的に学習できた。



宮脇小学校 6年

## 宅習帳の記述